

2019WORLD ROWING UNDER23 CHAMPIONSHIPS REPORT 1 (7/18)

7月18日（木）

U23世界選手権日本代表チームは、福井県美浜での国内最終合宿を終え、いよいよ戦いの地、アメリカ・サラソタに向け成田空港から、選手9名・スタッフ6名の計15名で出発しました。選手団は16:30定刻通りのDL296便に乗り込み、アトランタ空港経由でフロリダ州のサラソタ空港に向け飛び立ちました。

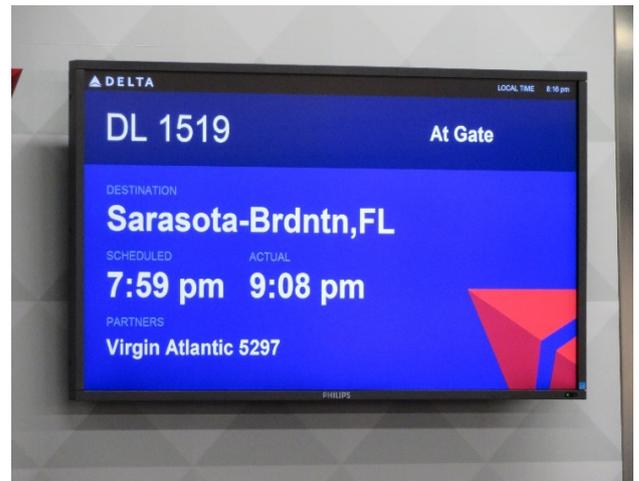
行ってまいります！ ご声援よろしくお願い致します！！



後列左から、BW2-高野選手（立命館大学）、BLW2角谷選手（立教大学）、BLW1x四方選手（鹿屋体育大学）、BLW2x高島選手（明治大学）、BW2-西田選手（明治大学）、後藤マネージャー（一橋大学）、
前列左からBM1x櫻間選手（NTT東日本）、BLM1x新井選手（慶應義塾大学）、BM2x木村選手（日本大学）、BM2x遠山選手（日本体育大学）



成田空港で、チェックインする選手団。



アトランタ空港での乗継便の遅れを知らせるアナウンス。結局この時刻よりさらに遅れ、約1時間45分遅れでサラソタ空港に向け離陸しました。



到着した飛行機が遅れたにもかかわらず、大会組織委員会スタッフが快く出迎えてくれました。大会を成功させようという姿勢が強く伝わってきました。

写真は、宿泊先のホテルに向かうバスに乗り込む選手団。

23:10頃にサラソタ空港に到着した日本代表選手団は、荷物を受け取り大会OCが手配してくれた車両にてホテルに向かいました。

バスはサラソタのポートコース脇を通りながらホテルに到着し、無事チェックインできました。約20時間の移動を終えた選手たちは、明日はいよいよコース入りです。